



昭

五月、六月、九月の順になっています。

宿泊者の種類(客層)別では、学生団体がトップで七十四万三千人(四八・九%)、一

ペンション急激な伸び

施設別の宿泊者数

宿泊者がどんな施設を利用したかをみると、旅館(80)万一千人、寮・保養所(54)万二千九千人、林間学校(6)万九千人、ホテル(5)万八千人、民宿(42)万八千人、ペンション

(17)万七千人、次いで貸別荘、国民宿舎、ユースホステルの順になっています。(施設名の下のカッコ内の数字は施設数) 前の年に比べ、ホテル、ペ

ンション、ユースホステルが増え、その他は民宿の三千五百人をはじめ、いずれも減少しています。増加した中で目立つのはペンション。昭和五十六年に十二軒で二万二千五百人、同五十七年に十五軒で三万九千四百人、同五十八年は十七軒で四万七千人と急激な伸びをみせています。

寸描

日光の水道(安良沢系)が、日本一「うまい水」の一つと厚生省が発表され、四月三日の朝日新聞の全国版



うまい水と情味ある日光に

市長 齋藤善藏

で報道された。事実、他では味わえないうまさがあることは間違いない。私は、日光の水道を計画するために役所に入った。

復の誤差が三センチであったことを誇らしく思い出す。そのため、現在でも久次良山内、上鉢石でその圧力を抜いて水が各家庭に送られ

昭和二十七年に安良沢浄水場から国鉄駅前までの高低を、今はあまり使われていない「Yレベル」という機械で測量をした。その差がきっかり二百センチであり、往

水が清ければ、その土地の女の人も美しい。だから日光女と言われるのだろうか。内外からの方々にも良く

味わってもらいたいと思う。もうひとつは、この美しい自然を、私たちが預かっているという自覚に立って、一人ひとりが慈しみ合うと同時に、内外からの人達に、水のうまさと、やさしく情味のある観光地だと言われたいと思う。そうした努力をすることが私達の使命であり、さらに生活を豊かにし、生きがいにつなげていくのではないだろうか。

